別記様式第2(第7条関係)

廃棄物埋設確認申請書(廃棄体用)

年　　月　　日

原子力規制委員会　殿

住　所

氏　名(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第51条の6第2項の規定により廃棄物埋設に関する確認を次のとおり申請します。

<table>
<tr><td rowspan="2">事　業　所</td><td>名　　称</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>所　在　地</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">廃 棄 体 の 数 量</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>整理番号
(注1)</td><td colspan="2">放射性廃棄物の発生場所(注2)</td><td>放射性廃棄物の種類(注2)</td><td>容器に封入し、又は容器に固型化した方法(注2)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>整理番号
(注1)</td><td>重　　量</td><td colspan="2">廃棄体に含まれる放射性物質の種類ごとの放射能量(注3)</td><td>廃棄体に含まれる放射性物質の種類ごとの放射能濃度(注4)</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td>整理番号
(注1)</td><td colspan="3">表面の放射性物質の密度(注5)</td><td>耐荷重強度(注2)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3"></td><td></td></tr>
<tr><td>整理番号
(注1)</td><td colspan="4">廃棄体の健全性及び廃棄物埋設地の安全機能を損なうおそれのある物質の有無(注2)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>整理番号
(注1)</td><td colspan="4">想定される最大の高さからの落下による衝撃により飛散又は漏えいする放射性物質の量又は漏えい率(注2)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>整理番号
(注1)</td><td colspan="4">廃棄物埋設地の外への放射性物質の漏出を防止し、又は低減する性能(注2、注6)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>整理番号
(注1)</td><td colspan="4">放射性廃棄物を示す標識(注2)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="2">標識及び整理番号の表示方法</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">埋設しようとする年月日</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">確認を受けようとする場所</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">確認を受けようとする年月日</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

注1　廃棄体のそれぞれにつき記載すること。
　2　記載内容が共通のものについてはまとめて記載すること。
　3　埋設しようとする全ての廃棄体に含まれる放射能量の総和又は埋設しようとするそれぞれの廃棄体に含まれる放射能量をベクレル単位(有効数字2桁)で記載すること。
　4　ベクレル毎トン単位(有効数字2桁)で記載すること。
　5　ベクレル毎平方センチメートル単位(有効数字2桁)で記載すること。
　6　廃棄物埋設地の外への放射性物質の漏出に関する評価を行うために必要でない場合は「該当なし」と記載すること。
備考　この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。